

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市荒町児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和4年度 26,401人(前年度比 111.2%) ・令和3年度 23,732人 ・令和2年度 21,091人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 45,736千円 (43,602千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。	

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や「回文団扇」をはじめとする様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。 なお、職員における虐待や不適切な対応を防止する取り組みについてのマニュアル「職員における虐待等の不適切な行為に対する対応について」を作成し、職員会議やOJTを開催して職員間で周知共有、子どもの人権に十分に配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重して支援が行われている。	19/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人ワーカーズコープ）による自己評価》
<p>貴重な財産となる地域資源を活用した取り組みや、保護者・小学校・商店街等地域一丸となった子育て支援事業を行いました。地域力を活かして共につくりあげていく関係性を強固にし、より良い児童館運営に努めました。</p> <p>○健全育成事業 地域の方を講師に招いた「味噌作り教室」「ネイチャークラフト」や食のイベント「はらぺこ あらまち」では貴重な体験・経験を通して発見や学びの場と楽しめる場となるように努めました。当団体共催の「竹あかりミニカフェ」では地域交流と心身の癒しの場となりました。</p> <p>○子育て家庭支援事業 年間登録制の幼児クラブ「あらまちっこ組」や「お話パーク」では季節に沿った行事を行い子どもの好奇心や向上心を高め、親子で楽しめる工夫をしました。専門の講師を招いた「バランスボール」「ホットヨガ」「ママのマナー講座」「交通安全教室」や「回文団扇作成」「水あそびとシャボン玉」等多様なイベントを開催し親子交流や子育て支援室の環境づくりに取り組みました。</p> <p>○地域交流推進事業 23団体・機関が連携して「あらまち子まもり防犯プロジェクト」を開催しました。それぞれの強みを活かして「防犯教室・訓練」と新たにボランティア団体と「防災教室」を行い、子どもたち自身も意識を高め安心・安全な笑顔溢れる町づくりに努めました。この昨年度からの取り組みで様々な賞を頂き活動報告をさせて頂いたり、仙台市に表敬訪問にも伺いました。また、小学校の授業として地域先生として「回文団扇授業」を開催し荒町の歴史文化と郷土愛を育む取り組みを継続して行いました。</p> <p>○放課後健全育成事業 集団遊びや毎日の外遊びで心身の健康と異年齢交流に取り組みました。多様なイベントを開催しその中で子どもたち自身が企画を実施し自己実現やコミュニケーションの構築に取り組みました。また、児童館の外に出て近郊の野草園や地域見学等自然遊びやフィールドワークを行いました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、地域のボランティア団体のネイチャークラブJ&Bと共催で、令和4年度に新たに「ネイチャークラフト」を実施した。どんぐりコースターや竹とんぼ作り等の自然物が材料の5ブースを児童が回り、各コーナーで地域の方から作り方を教えてもらいながら制作する取り組みは、子ども達の自然への興味関心を広げ豊かな感性を育むと共に、世代間交流が図られる機会となっている。地域の方を講師に招いた「味噌作り」や「お味噌でちよこっと料理」、食のイベント「はらぺこあらまち」でのクッキング等、食育にも取り組み、多世代交流を図りながら児童親子へ貴重な経験の場を提供している。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、幼児クラブ「あらまちっこ組」で多彩な体験を子ども達に提供すると共に、「ママヨガ」「バランスボール」を隔月で開催し、保護者がリフレッシュできるよう継続して支援した。産前・産後支援として「産前産後ヨガ」「メディカルアロマ作り」を実施した。両親での参加や産前産後の母親が参加し、交流と共に育児相談や情報共有の場となり、好評を得た。</p> <p>地域交流推進事業においては、市民センター・荒町商店街・小学校・警察などの23団体が連携して「あらまち子まもりプロジェクト」を開催し、子ども達が、地域の中で防犯ブザーを鳴らしてみる、大声を出してみる等の防犯対策を実際に体験した。「防犯ハロウィン」では、ハロウィンを楽しみながら110番の店を実際に訪問する等、子ども達の防犯への意識を高め、地域と関わりながら安心して過ごせる環境作りに努めており、評価できる。</p> <p>放課後児童健全育成においては、外遊びを積極的に取り入れ体力の増進に努めている。職員と共に、地域の方や近隣の高校生・大学生の協力を得ながら、「モルックで遊ぼう」「集団遊びつなぐんぐん」等の集団遊びや「日本丸を作ろう」「ちぎり絵の壁面装飾」「スノードーム作り」等の創作活動を定期的で開催し、異年齢交流・世代間交流を図りながら、社会性や豊かな感性を育てている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課